

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名:安城市

事業の名称:都市計画道路 桜井駅前線

(限度額立体交差事業)

実施都市名:愛知県安城市

事業目的

本路線は、本市南部の地域拠点である桜井駅周辺地区を東西に貫き、交通結接点である桜井駅とアクセスする幹線道路で、名古屋鉄道西尾線と平面交差している周辺道路の踏切遮断交通量も多いことから、著しく交通障害となっており、立体交差化が望まれていました。

このため、本路線を限度額立体交差事業として、安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業と同調して実施することにより、駅周辺を一体的に整備するとともに、4箇所の踏切を除脚し、交通の円滑化と安全性を確保し、周辺土地利用の向上を図ります。

事業概要

事業名：桜井駅前線(限度額立体交差事業)

路線名：都市計画道路 桜井駅前線

事業箇所：愛知県安城市

事業延長：L=約2.1km

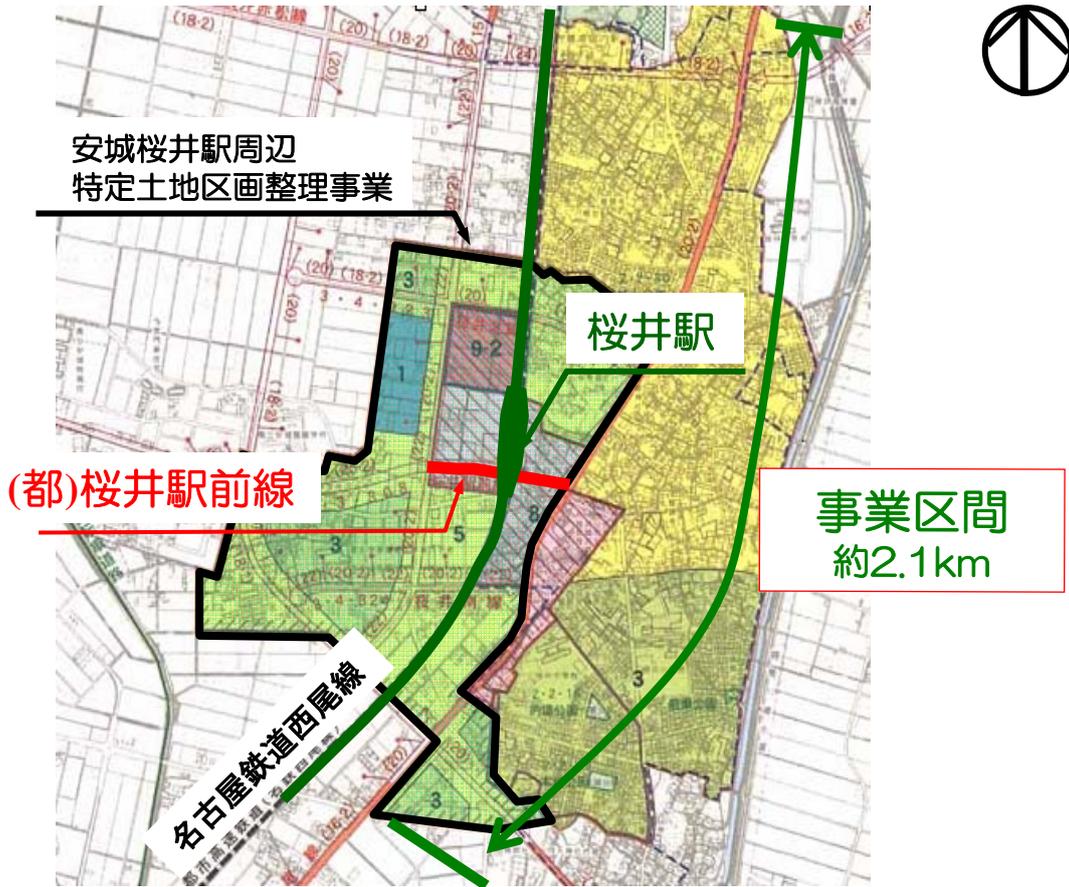
幅員：—

総事業費：約89億円

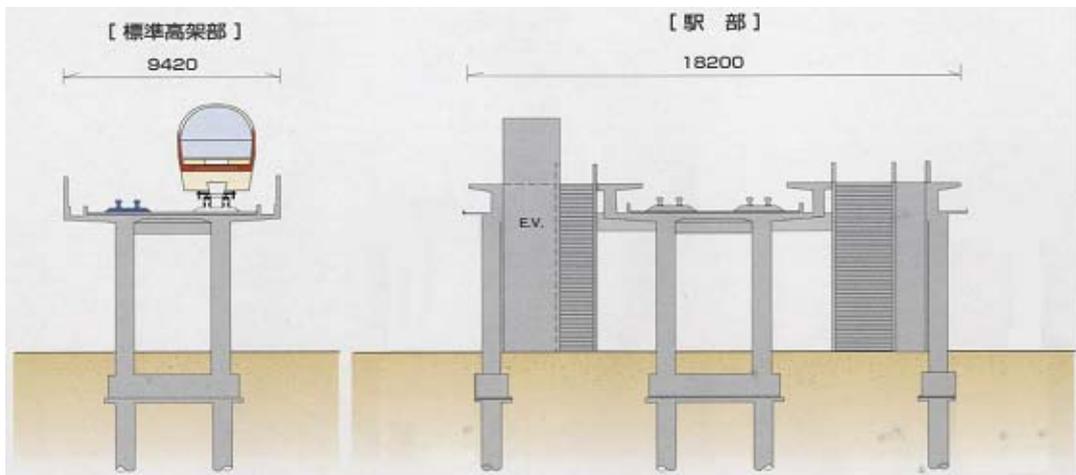
事業期間：平成14年度～平成21年

本事業は、名古屋鉄道西尾線の桜井駅付近約2.1kmにおいて鉄道を高架化することにより、4箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図ります。

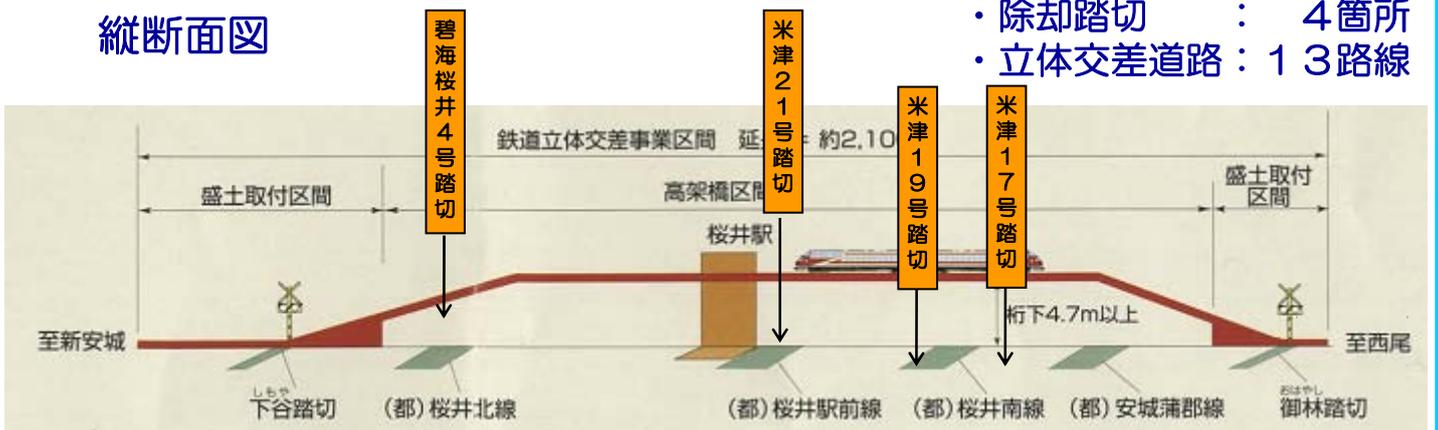
事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



縦断面図



- ・ 除却踏切 : 4箇所
- ・ 立体交差道路 : 13路線

桜井駅前線(限度額立体交差事業) の整備効果アピール資料

踏切を除却したことにより、踏切での交通遮断による
渋滞や踏切事故が解消されました。



従前

米津21号踏切
県道幸田石井線



現在



従前

米津19号踏切
都市計画道路 桜井南線



現在

○事業概要

事業名: 桜井駅前線(限度額立体交差事業)
路線名: 都市計画道路 桜井駅前線
事業箇所: 愛知県安城市
事業延長: L=2.1km
幅員: —
総事業費: 約89億円
事業期間: 平成14年度～平成21年※

○交通量調査結果

・供用前 実測(H18)
県道幸田石井線 6,622台/12h
・供用後 未実施

「整備効果」

○踏切事故の解消

米津17号踏切 → 解消
米津19号踏切 → 解消
碧海桜井4号踏切 → 解消
米津21号踏切 → 解消

「その他の事業効果」

鉄道の高架化により、周辺区画整理事業を促進させ、桜井駅前線他12路線の新たな鉄道交差道路の整備が可能となり、土地利用の増進と道路交通の円滑化を図ることが出来る。



桜井駅周辺

事業前写真



平成19年 1月撮影
名鉄桜井駅(旧碧海桜井駅)
周辺



平成18年 1月撮影
県道幸田石井線



平成16年 7月撮影
都市計画道路 桜井北線

事業後写真



桜井駅前線



平成21年 2月撮影
名鉄桜井駅周辺

平成21年 2月撮影
都市計画道路 桜井駅前線



平成22年 1月撮影
県道幸田石井線



平成22年 1月撮影
都市計画道路 桜井北線